

動物実験に関する自己点検・評価報告書

愛知学院大学（歯学部）

2024 年 7 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 ☐ 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 愛知学院大学歯学部動物実験実施規程 愛知学院大学歯学部動物実験センターの利用に関する細則 愛知学院大学歯学部動物実験実施体制 愛知学院大学歯学部動物実験委員会名簿 安全管理に関する規程等
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 環境省所管による「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」、文部科学省所管による「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」、日本学術会議が策定した「動物実験の適正に向けたガイドライン」に基づき動物実験実施規程を作成した。（2019 年 4 月に不備な点等の改正を行なった）
4) 改善の方針、達成予定時期 不備、不都合はないと思われるが、改善すべき点が見つかった場合は、適切に改正を行っていきたい。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 ☐ 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 愛知学院大学歯学部動物実験実施規程 愛知学院大学歯学部動物実験委員会内規 愛知学院大学歯学部動物実験委員会名簿 愛知学院大学歯学部動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 歯学部動物実験委員会は、委員長をはじめ、動物実験・実験動物に関して優れた識見を有する者、その他学識経験を有する者、動物実験施設の管理・運営に携わる者の計 9 名で構成されている。研究機関の長（歯学部長）のもと、動物実験が適正に実施される体制を整えている。

4) 改善の方針、達成予定時期

現時点で問題は発生していないが、改善すべき点が見つかった場合は、適切に改正を行っていききたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- ☐ 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

愛知学院大学歯学部動物実験実施規程

愛知学院大学歯学部動物実験センターの利用に関する細則

動物実験計画に関わる各種様式

動物実験計画（新規・継続）承認申請書、動物実験計画（変更・追加）承認申請書

動物搬入届出書、動物実験（終了・中止・年次）報告書、自己点検報告書（動物実験実施状況）

動物実験結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験の実施体制を改善するため、2019 年 4 月に動物実験実施規程及び動物実験計画に関わる各種様式の改正を実施し適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

現時点での改善の予定はないが、改善すべき点が見つかった場合は、改善策を考えていきたい。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- ☐ 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

愛知学院大学歯学部・薬学部微生物安全管理規程

愛知学院大学組換え DNA 実験安全管理規程

愛知学院大学歯学部動物実験センター有害物質審査委員会内規

向精神薬試験研究施設設置者登録証

特定外来生物の飼養等許可証

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

病原体の感染動物実験、遺伝子組換え動物を用いる実験、有害化学物質の投与動物実験の体制を定めている。放射線物質の投与動物実験は実施できないため定められていない。また、向精神薬の使用な

らびにウシガエルを用いた実験を実施するため特定外来生物等について行政に必要な手続きを行っている。

4) 改善の方針、達成予定時期

現時点での改善の予定はないが、改善すべき点が見つかった場合は、改善策を考えていきたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

愛知学院大学歯学部動物実験実施規程

愛知学院大学歯学部動物実験センターの利用に関する細則

愛知学院大学歯学部動物実験実施体制

飼養保管マニュアル

動物実験施設における緊急時の対応マニュアル

飼養保管施設等に関わる各種様式

飼養保管施設設置承認申請書、実験室承認申請書、施設等廃止届出書、自己点検報告書（飼養保管管理状況）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管施設等の要件が定められており、標準作業手順書として愛知学院大学歯学部動物実験センターの利用に関する細則と飼養保管マニュアルが定められている。また、緊急時の対応マニュアルも定められている。飼養保管施設には管理者及び実験動物管理者が定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

現時点での改善の予定はないが、改善すべき点が見つかった場合は、改善策を考えていきたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 愛知学院大学歯学部動物実験実施規程 愛知学院大学歯学部動物実験委員会内規 愛知学院大学歯学部動物実験委員会名簿 愛知学院大学歯学部動物実験委員会議事録 動物実験計画（新規・継続）承認申請書、動物実験計画（変更・追加）承認申請書 動物実験（終了・中止・年次）報告書、自己点検報告書（動物実験実施状況）、 動物実験実施結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 規程に基づき適正な委員会活動を実施して、機関の長（歯学部長）への動物実験計画承認書の申請、動物実験結果報告等を行っている。また、動物実験実施者及び飼養者に対しての教育訓練も行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 規程に定められた通りに実施されているが、改善すべき点が見つければ、適切に改善していきたい。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画承認申請書、変更・追加承認申請書、動物実験年次報告書、 自己点検報告書、動物実験実施結果報告書、動物搬入届出書 愛知学院大学歯学部動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 提出された動物実験計画（新規・更新）承認申請書及び動物実験計画（変更・追加）承認申請書を、審査し、機関の長（歯学部長）の承認を得ると共に、年度末には、動物実験実施結果報告書、自己点検報告書（動物実験実施状況）及び動物実験（終了・中止・年次）報告書を審査している。これらの報告書の提出率は 100%であった。

4) 改善の方針、達成予定時期

程に定められた通りに実施されているが、改善すべき点が見つかれば、適切に改善していきたい。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。
- ☐ 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料

愛知学院大学歯学部・薬学部微生物安全管理規程

愛知学院大学組換え DNA 安全管理規程

愛知学院大学歯学部動物実験センター有害物質審査委員会内規

向精神薬試験研究施設設置者登録証、特定外来生物の飼養等許可証

動物実験（終了・中止・年次）報告書、自己点検報告書（動物実験実施状況）

動物実験実施結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

微生物安全管理規程及び DNA 実験安全管理規程に基づき、実験実施者の安全を確保し、適切に行われている。また、有害化学物質の投与動物実験は実施されなかった。

4) 改善の方針、達成予定時期

規程に定められた通りに実施されているが、改善すべき点が見つかれば、適切に改善していきたい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

愛知学院大学歯学部動物実験実施規程

愛知学院大学歯学部動物実験センターの利用に関する細則

飼養保管マニュアル、動物実験施設における緊急時の対応マニュアル

微生物検査成績、飼育管理記録、衛生管理記録、管理台帳、業務日誌

動物搬入届出書、購入明細、自己点検報告書（飼養保管施設管理状況）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物管理者及び飼養者により、365 日交代で実験動物を飼養保管基準に従って適正に維持管理している。

4) 改善の方針、達成予定時期

今後、改善すべき点が見つかった場合は、適切に改善していきたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験センター利用登録申請書、業務日誌

工事計画調書、修理・工事依頼書・空調設備管理記録

排水処理装置点検記録、ボイラ点検記録、温湿度記録計盤

圧力容器法定検査記録、圧力容器性能検査結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管施設等は、管理者及び実験動物管理者によって適正に維持管理されている。

ラット及びウサギは減少傾向、マウスは増加傾向にある。

4) 改善の方針、達成予定時期

現時点での不備、不都合はないと思われるが、将来的にマウス飼育室の不足が考えられるため検討する必要がある。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

教育訓練資料

関連法案、条例、指針等及び規程等に関する事項、動物実験等及び実験動物の取扱いに関する事項、実験動物の飼養保管に関する事項、施設等の飼養に関する事項

教育訓練実施記録、公私立大学実験動物施設協議会教育訓練終了証

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験実施者に対して教育訓練をおこない、実験計画承認申請書に受講年月日を記入しなければならない。（教育訓練を受講していない場合は計画書は承認されない）そのため、教育訓練を受講しなければ動物実験を実施することができない。

4) 改善の方針、達成予定時期

今後も、動物実験実施者に対して教育訓練をおこない、訓練内容も慎重に点検し、改善すべき点など

が見つかった場合は、適切に改善していきたい。また、適宜最新情報を積極的に得るように心がけていきたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- ☒ 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験に関する自己点検・評価報告書

動物実験（終了・中止・年次）報告書、動物実験実施結果報告書

自己点検報告書（動物実験実施状況）、自己点検報告書（飼養保管施設管理状況）

ホームページ（URL: www.dent.aichi-gakuin.ac.jp）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験に関する自己点検・評価報告を適正に実施している。

ホームページ上に、機関内規程、自己点検評価の結果、外部検証の結果、飼養及び保管の状況（動物種と1日当たりの平均飼養数、施設の情報）その他（動物実験計画書承認件数、教育訓練の実績）、動物実験委員会を公開している。

4) 改善の方針、達成予定時期

特にないが、改善点が見つかった場合は、適切に改善していきたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

令和元年度（2019 年）に「第 2 期外部検証プログラム」による検証を受けた。